



わくわく だより



朝夕と涼しなりはじめ、だいぶ秋めいてきました。虫の鳴き声も心地良いですね。お祭りやアウトドアなど、アクティブな夏も楽しかったですが、過ごしやすい気候の秋も、色々なことに意欲が湧きます。

皆さんの秋といえばなんでしょう。スポーツの秋・読書の秋
芸術の秋などなど、いろいろありますが、私はやっぱり食欲の秋(笑)
山々の紅葉を見ながら散歩した後のおいしい料理と温泉は
最高ですね。お魚も食べたし、お肉も食べたし、新米、新そば...
想像するだけでお腹がすいてきてしまいました。このところ、子供や
家族のイベント続きで、疲れがたまっているの、近場の温泉
にでも行っておいしい料理を食べながら、ゆっくり癒すの
ころです。



ひとくちメモ 「紅葉狩り」の意味と由来

紅葉の季節になると普通に使っている紅葉狩りという言葉。別に狩りをするわけではないのに「狩り」という言葉が入っていることを不思議に思ったことはありませんか？

実は「狩る」という言葉は、鹿などの獣を捕まえるという意味以外にも草花を眺めるという意味も含まれているそうです。古語辞典で「狩り」という言葉を引いてみると「求めてとること、または鑑賞したりすること」というふうに書かれています。元々は獣をとることを意味していた言葉が、果物を採るという意味も含まれるようになり、草花を眺めるという意味も含まれるようになったそうです。

今でも紅葉狩り以外にも、「ぶどう狩り」とか「梨狩り」とかで使われていますよね。紅葉狩りという言葉は古くは万葉集にも出てきますので、昔は現代よりもっと「狩り」という言葉がよく使われていたのかもしれないですね。



ひとくちメモ



平成28年度福島県地価調査結果発表

県は9月21日、平成28年度地価調査結果を発表致しました。

基準地の平均価格は、住宅地が23,000円/㎡(前年22,500円/㎡)、商業地が44,400円/㎡(前年43,900円/㎡)で、最高価格は、住宅地・商業地ともに前年と同一地点で、住宅地が郡山市神明町で80,100円/㎡(前年77,800円/㎡)、商業地が郡山市中町で243,000円/㎡(前年236,000円/㎡)でした。

平成28年度の全体の特徴は上昇した基準地が211地点、横ばいの基準地が115地点であり、前年と比べると少し落ち着き始めました。(前年は上昇223地点、横ばい125地点)

用途別にみると、住宅地では上昇156地点(前年162地点)、横ばい82地点(前年94地点)、下落121地点(前年105地点)となり、前年より上昇地点が減少、下落地点が増加しましたが、横ばい以上の地点が全体の3分の2を占めている状況です。

原発事故による被災者の需要は既にピークを越えたとの観測が一般的であるものの、都市部を中心として土地取引、住宅着工は高水準にあります。上昇率は全体として鈍化傾向にありますが、避難指示区域に近接する福島市や伊達市、圏域中心都市に隣接して地価水準が相対的に低位な二本松市、大玉村、鏡石町等では上昇率が拡大し、変動率で最高位だったのは、いわき市四倉町で変動率は12.3%でした。一方、過疎化や人口流出が進むその他の町村部では、震災前の活力が少ない状況に戻りつつあります。

商業地においては、上昇38地点(前年36地点)、横ばい22地点(前年26地点)下落38地点(前年39地点)となり、都市部では、背後の住宅地価格の上昇との対比から値を戻す商業地も多い一方、町村部では過疎化や人口の都市部への流出を背景として、既存商店街の住宅地化が進行し、商業地地価の下落傾向が継続しています。

◆福島県地価調査

地価調査は、県が基準地の標準価格を判定し公表するものであり、国が行う地価公示と併せて土地の取引価格の指標を示すことにより適正な地価の形成に寄与することと目的としています。

※価格の判定基準日は、7月1日時点



無料進呈中

知らないと損をする!

『誰も教えてくれない不動産の賢い購入法』

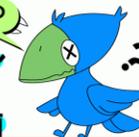
～不動産取引って、分からない事が多すぎませんか?～

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引のいろいろな事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。

引越し 住宅ローン

税金

自己資金 資金計画



この小冊子をご希望の方は小島北店までご連絡下さい。
ニヤンとなく お家探しはサービス1番の当社へ

TEL 0246 (27) 0331